

第 13 回南魚沼市立小・中学校学区再編等検討委員会議事録

日時 令和 6 年 1 月 18 日 午後 3 時から午後 4 時 45 分

場所 南魚沼市民会館 多目的ホール

参加 委員 16 名
事務局 6 名

議事

①各中学校区の小学校における統廃合の具体的手法に関する検討（事前配布資料 2）

- (1)大和中学校区
- (2)八海中学校区
- (3)六日町中学校区
- (4)塩沢中学校区

②その他

1. 開会（学校教育課長）15：00～
2. 挨拶（教育長）（塩川委員長）
3. 傍聴希望者について（一部許可）
4. 議事

部長 概要説明。

委員長 それでは、今事務局より説明があったことを踏まえ、まず大和中学校区について協議をおこないます。最初に学区の保護者及び校長先生からご意見を伺いたいと思います。

委員 (1) の表で黄色が築 60 年、赤が築 80 年ということですが、浦佐小学校は 2029 年で築 60 年、2045 年で築 80 年だと 20 年経っていないと思いますが、どういうことでしょうか。

部長 黄色と赤の間隔が 20 年ないということですが、黄色になっている年に 20 年足して次のところを赤くすると 20 年を超える年数を含んでしまうので、含まないように配置したのになります。

委員 令和 11 年に三用小学校と赤石小学校が複式学級になるということで、この段階で三用小学校と赤石小学校を統合するのか、複式学級でいくのかが大きなポイントとなると思っています。また、令和 27 年から令和 32 年に耐用年数を経過する学校が 4 校ある

ということで、20年後くらいを目途にあまり焦らずに大和地区すべての小学校を統合するというのが、私と私の周りの保護者から出た意見です。

委員

例示をわかりやすくまとめていただき、考える材料になりました。安全な環境のために耐用年数をなによりも考えると、浦佐小学校が2045年に80年ということで、ここまでには大和地区で一つの新しい校舎を建てるのは外せないと考えています。また、三用小学校と赤石小学校が複式学級になるのでどうしていくかというところですが、中間報告にもあったように主体的な合意形成というところで、2045年の頃には一つの学校になるので、統合して十数年でまた新しい学校となるより、そのまま複式学級でいくのかは検討していかないといけないと思います。三用小学校と赤石小学校の統合の話をしていく時に、2045年には大和地区で一つの学校になることを情報提供して、統合をどうするのかを考えていただくのが保護者や地域の方にとって大事だと考えました。大和地区が一つの小学校になっていくということですが、共通事項④に新設統合のみならず編入統合も検討すべきだという風に書いてくださっています。湯沢学園が一つになった時に神立小学校で教頭をしていました。その時、1年半の期間に5つの小学校と1つの中学校が一緒になって、校歌・校章・体操着・制服・生徒指導上の決まりなどを普段の生徒指導の仕事がありながら進めたので、こんなことがあるんだなと思いながら仕事をしていました。今回、色々な資料が揃っている中でいずれは大和地区で一つの小学校にということならば、統合するとなってから実際に学校ができるまである程度時間がとれると考えました。それだけの期間があるのであれば、分担したり、負担にならない程度に集まったりして物事を決めていくこともできると思います。なぜ、新設統合がいいかという、今年150周年で地域や保護者の方とお話しする機会があった時に、職員が思っている以上に地域の方は学校への愛着や親しみ、誇りを持っていると感じました。人数の関係で学校がなくなることは、理解して下さるところもあると思いますが、学校がなくなるというマイナスの気持ちを、新しい学校をみんなで作るんだというプラスの気持ちに変えていけるのが、新設統合ではないかと考えます。湯沢学園に行った職員から、子どもたちはみんなで新しい学校でやっついこうという対等な気持ちになれたということを知り、自分たちは大変だったけどよかったなと思えました。まだ先のことですが、前もっての期間が長ければ、準備を少しずつ進めて、最後の1年は閉校の準備に専念できるように計画的に取り組んでいくことも考えていただければありがたいと思います。

委員

統合の回数を減らした方が色んな所の負担が減るので進めやすいと思います。最初、浦佐小学校に三用小学校と赤石小学校が入っていくという流れもありましたが、浦佐小学校は教室が足りないという話も聞いています。先ほど委員がおっしゃったようにあと20年あるので、三用小学校と赤石小学校が合併した後、最終的に大和地区の小学校が一つになるのがいいのではないかと考えました。最後に、後山小学校と栃窪小学校は南魚沼市全体の特認校ですので、そこだけ確認ということでお話しさせていただ

きました。

委員 いずれ市内で4つの学校にするという方向になれば、令和22年から32年の間に4校を立ち上げていかなければならないと思います。それらの予定も踏まえていかないと財政的にも厳しい部分がでてくると思います。三用小学校と赤石小学校については統合して、その後大和地区の統合に加わっていくのがいいと思います。東地区という括りで保護者の意見も聞いた中で、複式学級で引っ張れるだけ引っ張ろうという意見であればそれはしょうがないと思います。

委員 今までのまとめがよくできていると思います。色々な視点から課題を提示していただいて、議論を重ねてきたことは意義があることだと思いますし、今後の一般行政でもこういう手法をとることがこれからの時代有効だと思います。先ほどの委員の意見に補足させていただきますが、基本的に対等に合併するのがいいと思います。三用小学校と赤石小学校の場合は、新しい小学校を作るといような煩わしさをなくするために編入統合という方式を申し上げました。中間報告15ページの「学校の小規模化による影響を補完するとともに、地域コミュニティの形成に良い影響を与えている」という部分が気に入りました。学校への愛着や思い入れに向き合って、それを題材にして地域の活性化を考えることが大事なことです。これから三用小学校と赤石小学校の父兄と話し合いながら、条件をよく理解した上でどう選択するのかを議論していき、これから第二幕に入っていければと思っています。

委員長 大和中学校区に関係する委員の皆さまより、まず意見を伺いました。他の委員の皆さままで、ご意見のある方がいらっしゃったら挙手願います。

委員 築60年、築80年とありますが、耐震補強がされていても築60年となると危険になると思います。築60年から築80年の間に統合という意見もありますが、私は築60年を過ぎたところから新しくすべきだと思います。統合としては一括で進めるのが良いと思いますので、大和地区でいうと2035年から2045年の間に学校を新設して一括で統合すべきだと思います。

委員 令和11年がイエローゾーンで令和27年になるとレッドゾーンになるのでその間に新築していかないといけないのがよく分かりました。三用小学校と赤石小学校の保護者からは複式学級でもいいのではないかという話も聞いています。六日町小学校は3クラス作れる体制で空き教室も出てきていますが、空き教室だからこそ自由に活動できる場所になっていたりするので、無理やり2クラス前提で作るのではなく、3クラス作れる学校を前提で早めに統合してもいいと思います。

委員 前回の中間答申を受けて、市内1700軒回らせていただきました。将来的に中学校区で

一つの小学校となれば、できるだけ急ぎなさいという声が多く、ちょっと待ってくれ
と言う意見は聞こえてきませんでした。大和地区についてはどの小学校も耐用年数が
迫っているという中で、各中学校区に一つの学校を新設するとなると1校50~60億、
4校で200億を超えます。それを10年から20年でできるのかと考えると、できると
ころからやっていくべきだと思います。大和地区については5年以内に新校舎を作
って一括して統合した方が、将来的に複式学級になる必要がなく、複数のクラスを維持
できるということが示されると思います。皆さんの言うように、地元の意見も非常に
大事だと思います。20年後や40年後を考えての答申もいいですが、できることから
なぜやらないのか、子どもたちの環境を考えてこの中間答申が出されたと思いますが、
20年30年という時間をかけていいのかという想いが強くあります。まず、大和
地区においては5年以内に新校舎を作って統合するというくらいの考えを持っていい
と思います。最近、石打小学校に入学するお子さんで、男の子が極端に少ないので、
上に2人兄弟がいますが塩沢小学校区に引っ越しをして塩沢小学校に入学することも
考えているという話がありました。保護者は本当に切実で、その想いにすぐにでも答
えてあげられることが学区再編検討委員会に課されているという想いが強くしました。

委員長 他にご意見ございますでしょうか。今ほど早急にというご意見がありました。適正規
模も考慮しなければいけないので、具他的手手法においては例示1をなるべく早めに進
めていくという考えで統一させていただいてよろしいでしょうか。

委員 今ほどの意見にあった切羽詰まった状況や国が示している理想論を地域で説明をして、
地域の皆さんが考えて、地域の皆さんの責任で判断することが大事だと思います。地
域の宝を育てて、子どもたちに地域に残ってもらい、または帰ってきてもらって地域
を支えてもらわないと困るので、そういう想いも議論の中に入れるべきだと思います。
コミュニティスクールをやっていると、子どもであっても大人な発想をします。子ど
もたちは立派な地域の構成員ですので、子どもの意見を聞いたり、子どもに良いもの
を提供するという意識も含めて地域の中で話をするということも考慮していただきた
いと思います。

委員長 これから地域の方々にしっかり説明をして、意見をいただいて方向を決めていかなけ
ればならないと思います。貴重なご意見ありがとうございます。皆さんから出してい
ただいた意見をまとめると、2040年から2045年を目途に新しい学校を作るというこ
とで、前倒しができるようにであれば地元の意見を聞きながら進めていくということ
でした。そのような方向でよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 では、大和中学校区の具体的手法については事務局提案のとおりとしますが、ご異議ございませんでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 異議なしですので、大和中学校区の具体的手法については原案のとおり決定しました。

委員長 では、ここで10分間休憩とします。

委員長 休憩を閉じ、会議を再開します。続いて、八海中学校区について協議します。

委員 2040年が適正と示されていますが、3小学校の人数的なバランスから複式学級になるまでにはまだ当分時間があります。おおまき小学校は統合して4年ですし、五十沢小学校も統合して10年ですので、まだ状況を判断する猶予があると思っています。3小学校が一つになるということは広域な範囲になりますので、地域の皆さんからご意見をいただきながら進めていく必要があると思います。校舎については、おおまき小学校や五十沢小学校は立派な校舎がありますが、将来的には統合用の小学校を準備いただくことが必要になってくると思いますし、有力なのは城内小学校になると思いますが、地域と相談した上で進めていただければと思います。今回まとめていただいたことをご理解いただきながら進めていくのがよろしいと思います。

委員 おおまき小学校、五十沢小学校は統合したばかりですし、複式学級も発生しないということですので城内小学校の耐用年数80年ということもありますが、可能な限り伸ばせればと思っています。八海中学校の統合の際に五十沢の委員が10名いらっしゃいましたが、五十沢小学校と西五十沢小学校の統合で疲れすぎてほとんど発言されませんでした。そんな状況ですので、伸ばせたら伸ばしていただきたいですし、二日町の施設が解体されて給食センターもなくなるということであれば、そこに作ってもいいと思いますが、中学校との関係からすると城内小学校の場所かなとも思います。私は八海中学校区は可能な限り伸ばしていただきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。他に八海中学校区についてご意見ございますでしょうか。

副委員長 先ほど、特認校は市内全体を対象とした学校であって、学びの場として確保するということが、すべての中学校区に学びの場所の確保に努めるという文章が入っています。八海中学校区については当面は統廃合なしでいくと、学びの場を新しく作るという考え方ではなくて、後山小学校を含めた中で考えるということによろしいでしょうか。また、統合があった時には六日町地区にも新しく学びの場を作っていくのか、というところをご説明いただければと思います。

部長 先ほど、市内全域の特認校というお話をいただきました。今後も存続をする上で欠かせない視点だと思います。多様な学び方ということであると、特認校以外に望む多様な学び方も出てくると思います。また、文部科学省からは学校内での居場所作りなど、色んな視点からの情報が出ていますので、保護者から意見を聞きながら検討していく必要があると考えています。具体的にどこに何を作るといってでなくて、そういう視点をなくさないようにしたいということで、共通事項に記載させていただきました。

委員長 では、八海中学校区の具体的手法についてはいただいた意見を事務局からまとめていただきたいと思います。続いて、六日町中学校区の具体的手法について、お願いいたします。

委員 他の地域に比べて学校数も少ないですし、私が聞く中で保護者の中から大きな問題は聞こえてきません。北辰小学校の耐用年数からするといずれは六日町小学校に統合するのだろうという話もありますが、そうなった時に通学をどうするかという話はよく聞きます。2045年から2050年の間に統合することについては現時点で反対ではありませんので、地域の皆さんと意見をすり合わせていただいて、なるべくスムーズに統合を進められればいいと思っています。

副委員長 元々、北辰小学校は六日町小学校から分離してできた学校ですので、統合はありだなと思っていますが、すぐに統合しなければいけないという状況でないと思っています。一番大事なのは、地域の皆さんから熟議してもらうことだと思います。通りを挟んで反対側は北辰小学校区という街中での区切りになっていますので、交流もたくさんあります。そういった中で地域と話し合うことが六日町中学校区としても大事なことだと思います。色々な情報を出して熟議を重ねた上での統合という風にしていただけたらと思います。将来的に1校にまとめることについては反対ではありませんので、地域としてどうありたいかが大事だと思います。分離した北辰小学校も新しい歴史を作ってきていますので、熟議を重ねることで新しいものが生まれると思います。よろしくお願いいたします。

委員 今回、北辰小学校の老朽化によって約5億を投じて改修をしていますが、保護者から、将来的に統合するのになぜお金をかけるのかということも言われました。六日町小学校が6年後には1学年1クラスが迫っていることは保護者の間でも共有して、早急な統合は必要ないとなったとしても、保護者からは、北辰小学校の通学路の危険などから新たな場所に学校を作るといった意見もあるかもしれません。人数的に大丈夫という考え方ではなく、教育環境を考えるとPTAや地元の方々と情報を共有しながら統合を進めていくことが必要だと思います。

委員長 皆さんの意見をまとめていただいたものを基本にして、地域の皆さんから意見を頂戴

しながら今後検討を進めていくという方向でよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 では、そのように進めさせていただきます。
続いて、塩沢中学校区の具体的手法について、お願いいたします。

委員 塩沢小学校は人数がいるので、周囲からは統合というような話はありませんでした。具体的手法例示 1、上田小学校が複式学級になるタイミングで統合ということで良いと思いました。先ほども話がありましたが、統合する場合は対等な形で統合するのが保護者的にも納得すると思えますし、進めやすいと思えます。築年数も考慮すれば、現時点で例示 1 に向けて動くのがいいと感じています。予想以上に少子化が進んでいますので、2040 年より前に複式学級が生じる可能性もあります。その辺も予想しながら検討していく必要があると思えます。

委員 塩沢中学校区は統合経験のある学校が多い地区でもあります。地域の皆さんからすると学校がなくなるということは、どんなに相談した上で決めたとしてもさみしい気持ちや残念と思う気持ちは強くあります。統合して自分の学校と語れるようになるにはすごく時間がかかることは実感しています。上田小学校は 4 年目ですが、第一上田、第二上田と言わなくなったし、子どもたちは区別なく過ごしていますが、小千谷等の 3 校が統合した学校の校長先生からは 10 年かかるという話を聞いています。やはり、慎重に進めないといけないということと、また上田が統合するのかという想いをしないためにも例示 1 のパターンがいいと考えます。正確な情報があるので、早く市民が知ることがすごく大切だと思っています。このメンバーでもそれぞれ考えがあって、一つにまとめることがすごく難しいということも分かるし、知らないと疑心暗鬼になるということも分かります。市として遠い未来に向かって学校教育をこうしていきたいということを早く知らせて、そのまま意見が反映されずとも、どう思っているかを考える場をたくさん作ってもらえるのが良いと思えます。統合について準備している最中だということを地域住民から事実を知ってもらって、みんなで考える環境作りをしてもらえると良いと思えます。また、なるべく早いほうが良いと思えます。複式学級が始まるのを契機にということだと思えますが、せっかく新しい学校を作るのに、恩恵を受ける子どもたちの数が減ってから作るのではもったいないという気がしていて、もし新しいものをつくるのであれば、早い方がいいと思えます。今、なんでもコンパクトになっているなかで大きな箱を作っているのかということもあります。へき地・複式研究校の事務局をやっていますが、他県のへき地校の研修に行くと校舎が素晴らしかったりします。その地域がどれだけ小さな学校に想いを持っているかが伝わる学校が大変多いです。なので、南魚沼市でも新しく作るのであれば早くできるように動いていただければと思います。学区再編が将来の夢を作るような形になればいいなと思

います。

委員 各地区ごとに大変よくまとめていただいて、ありがたいです。塩沢地区の具体的手法についてですが、例示 1 が一括で統合、例示 2 が 5 年間で 2 回統合となっていますが、5 年間で 2 回の統合はとても大変だと思います。上田小学校、石打小学校は統合の経験があるのでよく分かると思いますが、統合する業務よりも統合した後の文化が混ざり合った時の風土をどういう風に作っていくかがすごく大変なので、その辺も含めて地域の皆さんから意見をたくさん聞いていただいて進めていただければと思います。通学方法についてですが、塩沢小学校は街中であって冬は保護者の車も入れないほど混み合ってしまうので、そこに 3 校の車が入って来るとなると大変だなと思います。この点についてもしっかり検討が必要だなと思いました。

委員 例示 1 のように、統合するのであれば一斉に統合するのがいいと思います。今ほど他の委員の方々からご意見があったように、統合すると保護者の皆さんは不安な部分がありますし、地域の皆さんの了解なしでは進められないと思いますので、早めに意見交換をしていただきたいと思います。例示 1 だと 2045 年ということですが、それまでまだ時間がありますので、地域の皆さんと話をしていくべきだと思います。

委員 統合するのであればなるべく早くという意見が圧倒的に多いです。統合した後の融和に時間がかかるのは当然だと思います。例えば今年の 4 月 1 日に塩沢地区の学校が統合しても、1 学年 4 クラスで塩沢小学校に収納可能です。塩沢小学校は大きく作ってありますし、耐用年数もあと 20 年あります。石打小学校は統合して間もないですが、複式学級になるかもしれないということで保護者は心配しています。すぐにでも塩沢小学校に統合して、新校舎は 10 年以内に作って、幼児を含めた小中が連携してモデル化していければと思います。昨年も総務文教委員会で愛知の先進校を見てきましたが、子どものサイズが大きくなっていて廊下や校舎、トイレもそれに対応して大きく作られていますので、そのような教育環境を作ることが大事だと考えています。

委員長 他にご意見ございますでしょうか。

共通しているのは、早めに地元の方々に現状を説明した中で、意見を吸い上げて極力早く統合ということだったと思います。では、例示 1 を基にして今日の意見をまとめて進めていくということよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 ないようであれば、具体的手法の検討について終了します。委員より出された意見を反映し、中間答申と合わせたものを、次回の会議において最終答申案として事務局より提示願います。

委員長 続いて、②その他について、委員の皆さまから何かございませんでしょうか。

委員 大勢の環境に馴染めない子の小規模特認校の在り方については次回から議論するべきだと思います。

委員長 他の委員からも小規模特認校について意見がありました。それも含めた中で事務局からまとめていただければと思います。

5. 次回の開催予定：2月13日（火）

6. 閉会

午後4時45分終了